

## 平成27年度 第2回

### 端野まちづくり協議会開催結果について

- 日 時 平成27年7月14日（火）  
午後7時00分～午後9時00分
- 会 場 北見市端野総合支所 1階 会議室 1・2
- 出席者
- 協議会委員（計12名）  
岡村廉明会長 山内幹司副会長  
今村幸雄委員 小田大典委員 斉藤千尋委員  
永沢章治委員 細川純子委員 保里隆道委員  
松崎常雄委員 水口馨委員 村本慧乃委員  
森谷幸弘委員
  - 北見市  
藤田自治区長 田辺教育事務所長 加藤市民環境課長  
菅原保健福祉課長 浜田産業課長 福島建設課長  
三好生涯学習課長
  - 事務局  
似内総合支所長 上銘総務課長 伊藤地域振興係長  
川合主任
- 傍聴者 2名
- 次 第
- |                             |       |    |
|-----------------------------|-------|----|
| 1. はじめに                     | ----- | 1  |
| 2. 報 告                      | ----- | 2  |
| 平成27年度端野自治区関係予算について         |       |    |
| 3. その他                      | ----- | 11 |
| ①北見市景観計画（巻末資料追加）について        |       |    |
| ②道道仁倉端野線道路（通行止め区間）の改修予定について |       |    |
| ③「ナイナイのお見合い大作戦 北見の花嫁」開催について |       |    |
| ④北見市プレミアム商品券について            |       |    |

## 意見交換・質疑の主な内容

1. はじめに	
事務局	ただいまから平成 27 年度第 2 回端野まちづくり協議会を開催いたします。はじめに、岡村会長よりご挨拶をいただきます。
岡村会長	<p>こんばんは。</p> <p>まさに「夏が来た」という天候が昨日、今日と続きまして、ビールの美味しい季節がやってきました。</p> <p>毎年商工会青年部が主催しておりましたビールパーティーですが、今年は開催しなかったと聞きました。</p> <p>部員の減少が止まらないということがありまして、実現が困難になってきたとも聞いています。</p> <p>また、消防団も団員の減少が続いているようです。</p> <p>若者の減少は全国的な問題でもあります、皆さんの知恵を集めて何とかしていきたいものだと感じています。</p> <p>北見市が合併して 10 年を迎えますので、今年は様々な冠事業が行われるということです。</p> <p>太陽まつりも予算が増え、例年より大きく開催すると聞いています。</p> <p>合併 10 周年を迎えて、この 10 年間でどうであったかという検証も行われるようです。</p> <p>ますます良いまちを作っていくために、皆さんと一緒にこのまちづくり協議会で頑張っていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	続いて、藤田自治区長より行政報告をいたします。
藤田自治区長	--- 藤田自治区長より行政報告 ---
事務局	これからの会議の進行につきましては、会長にお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。
岡村会長	<p>それでは、会議に入ります前に、会議の成立について事務局から報告がございませう。</p> <p>事務局、報告願います。</p>
事務局	<p>本日の出席委員数は、正副会長を含め 15 名中 12 名でございます。</p> <p>北見市自治区設置条例第 7 条第 3 項の規程に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。</p> <p>柴田委員、沼崎委員、渡辺委員につきましては欠席する旨の報告がありました。</p>
岡村会長	先ほど、藤田自治区長から行政報告が行われましたが、委員の皆さんからご質問などございませうか。

なければ、「行政報告」については以上で終わります。

## 2. 報告

岡 村 会 長

続きまして、次第の 2、報告の「平成 27 年度端野自治区関係予算について」に入らせていただきます。

事務局説明願います。

事 務 局

資料 1 をご覧ください。

平成 27 年度端野自治区関係予算について主な歳入と、事業を記載してございますが、説明につきましては実施計画事業などを中心に概要を、各課長からご説明させていただきます。

説明順につきましては、資料 1 の表紙に記載してあります目次の順に沿って、総務課よりご説明いたします。

長くはなりますが、すべての課の説明が終わりましてから、全体を通してご質問を受けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、総務課より説明いたします。

各 課 長

--- 各課長より説明 資料 1 ---

岡 村 会 長

ただいま各課から説明をいただきました。

例年、端野まちづくり協議会では、秋に今後 3 年間の自治区内事業について答申を行っておりますので、今年度の事業のみならず、今後の事業の方向性や考え方、更には「こんな事業はできないか」などの提案も含めて、ご質問、ご意見などございませんか。

保 里 委 員

北見自治区では、中央図書館が今年度中に完成すると聞いています。

端野図書館は、総合計画に改築整備として計画されていますが、建物の老朽化が激しく直しながら使っている現状です。

今年度は冷房設備のみ計上されていますが、今後どうしていくのか、方向性など決まっているものがありましたら教えてください。

三好生涯学習課長

昭和 53 年に建てました端野図書館は、相当な年月が経過しています。

合併後、社会教育部全体の考えとして、中央図書館を建設するという課題が先にありましたので、その他の課題についてはなかなか取り組めないという経過がありました。

中央図書館は今年度からオープンすることに決まりましたので、今後端野図書館のあり方については、積極的に検討していかなければならないと考えています。

なお、この進め方については、社会教育部内の協議も必要ですし、まちづくり協議会の皆さんのご意見もいただかなくてはならないと考えていますので、時期が来ましたらよろしくお願いいたします。

水 口 委 員

3 点お伺いいたします。

1 点目は、のんたの湯についてです。

<p>浜田産業課長</p>	<p>今まで論議されてきていますが、その論議の中でもありました利用者の流れの経過について、どのようになっていますか。</p> <p>2点目は、公共施設の利用料改定についてです。</p> <p>改定が行われたことによる影響の有無を教えてください。</p> <p>3点目は、例えば端野町史のような、端野自治区にある古い資料の整理、保存についてです。</p> <p>今後どのような方法で考えているのか教えてください。</p> <p>今年度中央図書館が完成しますが、この問題は各自治区で考えていかなければならないことではないかと思っています。</p> <p>1点目の、のんたの湯についてお答えします。</p> <p>現在は、利用者増と経費節減に努める方策等について検討を重ねているところ です。</p> <p>また、今までに皆さんと行いました数回の勉強会でご意見をいただいておりますし、平成27年度については重点項目としてのんたの湯を整備してほしいということも挙がっておりますので、今後も「維持していける」と皆さんに説明ができるよう検討を重ねてまいります。</p> <p>今後も皆さんと勉強会を開催させていただきたいと考えておりますし、新しい手法等が見えたら提案させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>利用者の流れについては、今手元にはっきりした数字を持ち合わせていませんが、ここ数年は16万人前後で推移しております。</p>
<p>三好生涯学習課長</p>	<p>2点目の、公共施設の利用料改定に伴う影響の有無について、社会教育施設分についてお答えいたします。</p> <p>利用の実態についてですが、公民館につきましては利用数が増えておりますが、他のスポーツ施設等については減少傾向にあります。</p> <p>減少の経過が利用料金が上がったことによるものかどうかは分析しておりませんが、日頃利用していただいている文化、スポーツ団体の方の声をお聞きしますと、団体内の高齢化などの理由から使用料の減額を望まれていることも事実です。</p> <p>これにつきましては、検討していかなくてはならない課題であると捉えております。</p>
<p>加藤市民環境課長</p>	<p>市民環境課が所管しております、地域の生活センターについてお答えいたします。</p> <p>生活センターの利用は、地域の活動に伴う利用ですので、利用料が改定されたことによる影響はあまり無いのではと考えています。</p> <p>ただし、利用料が上がったことに対しては、指定管理制度もありますので、戸惑いのようなものはあるのではと思います。</p>
<p>福島建設課長</p>	<p>建設課が所管しております、森と木の里の施設分についてお答えいたします。</p>

<p>上銘総務課長</p>	<p>平成 23 年度から平成 26 年度までの利用者数は、おおよそ 1,500 人前後で推移しており大きな増減はありません。</p> <p>施設ごとの利用者数に波はありますが、料金の改定に伴う増減というよりは、他の理由によるものと分析しています。</p> <p>3 点目の古い資料の保管、整理についてお答えいたします。</p> <p>端野町時代には、町史編さん室で町内全体の古い資料を収集しており、それが今、大変貴重な財産となっております。</p> <p>3 自治区の中でも、古い資料が残っているのは端野自治区が比較的多いということで、貴重な資料とっておりますが、合併後は資料の収集が難しくなっている現状です。</p> <p>収集できるものについては、目録に追加して保管していくようにしていますが、各委員さんも、各字区の部落史などありましたら、総合支所にもいただけるように言っていただけたらと思っております。</p> <p>端野図書館でも資料の収集、保存をしていますので、重複するものもあるかと思いますが、できる限り収集に努めて参りたいと考えております。</p> <p>また、毎年 1 月のまちづくり協議会でお渡ししている自治区年表につきましても、今後も引き続き作成していきたいと考えております。</p>
<p>水口委員</p>	<p>1 点目の、のんたの湯の経過や考え方については、わたしも現状を見て、やむを得ないだろうと思っております。</p> <p>また、2 点目の公共施設の利用料の改定についても、やむを得ないだろうという理解をしたいと思っておりますが、お願いしておきたいことがあります。</p> <p>福祉関係には小さな団体が結構ありますが、こうした人たちが公的な場所を借りるときに、利用料が高くて使えないと以前から聞いています。</p> <p>端野自治区内だけの問題にはできないと承知していますが、こういうことに関する相談があったときには、どうか相談に乗ってあげてほしいということ要望としてお伝えしておきます。</p> <p>3 点目の古い資料の関係について、端野は過去の先輩方が資料を集めてきちんと整理されていますが、合併後、各自治区の資料をどうするのかというのは何も見えていない状況です。</p> <p>端野だけのことを見ると、例えば、あの大事な資料を管理するボランティアのような組織を作るなどしていかないと、この先、膨大な資料を管理していけないのではないかと感じています。</p>
<p>小田委員</p>	<p>資料 1 の 4 ページ、市民環境課の歳入の中にあるゴミ処理手数料については、事業系の 90 円という部分が、今年の春から 100 円に値上がりしているはずではないでしょうか。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>予算の資料なので、90 円になっているということでしょうか。</p>
<p>加藤市民環境課長</p>	<p>そうです。</p> <p>決算では変わってきます。</p>

小 田 委 員	<p>今年の12月をもって一般家庭のゴミの搬入は終わるということで、今年は多めに搬入されているようです。</p>
森 谷 委 員	<p>今年、スクールバスの入替えてバスが小さくなるので、丸森町から交流事業で来る子どもたちが、1台のバスに乗りきれなくなると聞いています。</p> <p>そこで、福祉バスの運行に関しては利用の仕方が限定されているということですが、立派で多数が乗れる福祉バスを、もっと有効利用していくようにはできないのでしょうか。</p>
菅原保健福祉課長	<p>現在福祉バスは、名称からも分かる通り、福祉の分野であります高齢者、障がい者、子どもたちなど、限られた利用をしているところです。</p> <p>以前から、常に使っているわけではないので、空いているときには他の利用をしてもいいのではないかという意見が多くあることも事実です。</p> <p>これまでも、利用できる範囲では使っていただいています。特に市長が認める場合には利用できるという方法もありますので、利用の要望がありましたら文書等で申請いただきましてご利用いただくと共に、今後のあり方については検討していきたいと思えます。</p>
森 谷 委 員	<p>その説明でいきますと、丸森町との子ども交流は小学生が対象ですから、利用できるのかなと思われそうですが、せっかく子どもたちが交流のためにやって来るのに、スクールバスの都合で1台に乗りきれないというようなことがあれば、他の民間のバスを使うようなことはせず、課同士で摺合せするなどして、福祉バスを使っていたきたいです。</p> <p>子どもたちに、こんなバスがあるんだよという端野のPRをしていただいてもいいのかなと思っています。</p> <p>端野町当時には、高体連の全道大会など幅広い利用をしていたものが、制限されて今に至っていますから、引き続き検討をお願いします。</p> <p>次に、学校の建築に関連してお伺いしますが、教員住宅の整備事業費ということで、今年度分4棟4戸の予定は、1戸建ての住宅を4つ作るという計画でよろしいですか。</p>
田辺教育事務所長	<p>ご質問のとおり、小中学校それぞれの校長、教頭住宅として、4棟4戸建築いたします。</p> <p>発注は8月中を目途に進めております。</p> <p>建物の形状については、設計経費削減のために、温根湯中学校で建築しているものを参考とさせていただいて、建設課で自主設計していただきます。</p> <p>面積は99平米程度で考えています。</p>
森 谷 委 員	<p>1階と2階に分けて2戸にするなど、コストを抑えることができるのではないかとおっしゃいましたが、そのように経済的に考えて設計されるのですね。</p> <p>次に、カレーライスマラソンについてお伺いしますが、今回合併10周年記念で、例年より30チーム多い230チームの募集が、昨日から始まっているかと思えます。</p>

<p>三好生涯学習課長</p>	<p>去年は 200 組の募集に対して、倍近い応募があったと聞いていますが、今年の現在の受付け状況がわかれば、教えていただけますか。</p> <p>今年は合併 10 周年で例年より補助金が増えておりますが、この基本的な考え方は地元のチームを 30 チームプラスしようという案であるということと、設備を更新するものです。</p> <p>先週 1 週間、端野卒の募集をしていたところですが、まだ余裕があると聞いております。</p> <p>今週から一般の申し込み期間に入っておりますが、今現在で何チーム申し込みをいただいているかまでは、申し訳ありませんが、正確には把握しておりません。</p>
<p>水 口 委 員</p>	<p>2 点追加で質問があります。</p> <p>1 点目は、旧端野町ではひとつづくりがまちづくりの基本であるという姿勢がありましたが、合併の最大のデメリットとして、ひとつづくりができなかったというのが、一番大きい問題だと思っています。</p> <p>こういう背景で、ここ 2、3 年同じことを聞いていますが、社会教育やその他で、考え方を整理したものがあれば教えてください。</p> <p>2 点目も以前に質問したことがあります。中学校や今建設中の小学校の周りに、なぜ緑（樹木）がないのかということです。</p> <p>色々幅広い考え方があると思いますが、もっときちんと考えてもらいたいです。</p>
<p>三好生涯学習課長</p>	<p>1 点目のひとつづくりの件に関して、生涯学習の観点からお答えします。</p> <p>生涯学習では、少年、青年、女性、高齢者と、分野を分けて対応しております。</p> <p>少年に関しましては北見市全体のリーダー養成事業と単独事業をミックスしながら、子どもたちの育成を図っているところです。</p> <p>青年に関しましては、端野町青年団体協議会が解散し、従来の手立てが講じられないということもあり苦慮しているところです。</p> <p>ただし、端野自治区内で青年団体がゼロになったわけではなく、産業課で所管しております農業青年大学や、商工会青年部、それから農協にも青年部があります。</p> <p>こういった組織の皆さんが地域づくりに関することを体験できるような機会を、応援していくという立場ではありますが、具体的な予算化がされていないということについては、今後の大きな課題ではないかと考えております。</p> <p>それから女性団体、婦人団体ですが、こちらも従来からありました女性団体連絡協議会は解散しています。</p> <p>なお、この分野につきましても、商工会などの他の組織では残っているところがありますので、連携をとりながら検討していかなければならないと考えております。</p> <p>高齢者団体につきましては皆さんもご存じの通り、端野では「しらかば大学」という教育を実施しております。</p>

田辺教育事務所長	<p>さらには他の所管となりますが、老人クラブ連合会という組織もありますので、この団体とも連携を図りながら、まちづくりに関わるような皆さんを育成していくということを課題として検討していきたいと考えております。</p> <p>2点目の、改築する小学校に緑（樹木）がないというご指摘ですが、改築事業そのものとしては植樹を予定していません。</p> <p>ただし、風が吹いた時のグラウンド対策という部分での低木は、将来的に全市的な位置付けも含めて整理をしていくということで、学校教育部で検討しております。</p> <p>端野小学校の改築に当っては植樹升を道路側に用意していますので、そちらへ植樹することでの対応も可能かと考えています。</p> <p>小学校だけでなく中学校も含めてどうしていくか、ひとつのものとして整備したいので、今後、改築事業とは切り離れた整備でご理解いただければと思っています。</p>
水口委員	<p>今の小学校には、過去に他の学校と統合した際のオンコの木がありますが、これは予算的な問題で移転できないと聞きました。</p> <p>低木での整備との話がありましたので、あのオンコの木でしたらあまり上には伸びない低木ですから移植できるのではと思いますし、大事にした方がいいのではないのでしょうか。</p>
田辺教育事務所長	<p>統合の記念木については、父母会で今後の扱いをどうするか検討した際に、移植しないという答えが出されていますが、統合の経過や今後の日吉の統合の事もあり、いかがなものでしょうかと公式の場ではありませんが話もしています。</p> <p>全く持っていけないと決まったものではありませんので、ご理解いただきたいと思います。</p>
水口委員	<p>ひとつづくりに関しては行政が大きくなりましたから、端野自治区だけでどうにかできる問題ではないだろうと思いますし、難しいことを言っているというのは承知しています。</p> <p>例えばですが、あまり大枠で考えなくても小さなサークルやサロンのものを、行政が意図的に仕掛ける努力をしたら少し変わるのではないのでしょうか。</p> <p>これは例えなので実際にどういった形がいいのかはわかりませんが、とにかく人を集めて、意図的にリーダーを育てていくようなことをしないと人は育っていかないだろうと思っています。</p> <p>今までのやり方では、難しいのではないのでしょうか。</p> <p>北見市全体の問題で捉えると難しい問題ですが、端野自治区の範囲の中でできる事は何か、構築していただきたいと思います。</p>
保里委員	<p>近年の成人式では、ボランティアの若い青年が成人を迎える方をお祝いしてあげて、お祝いされた方が翌年にまた手伝うというサークルのようなもの</p>



小 田 委 員	<p>があります。</p> <p>私も昔、青年団に入っていました、青年団を通じて色々なことを学びましたし成人式も手伝っていました。</p> <p>こういった活動は青年団だけで全て行っていた訳ではなく、様々なところで、様々なサークルが行っているものです。</p> <p>でも、決して数は多くないと感じています。</p> <p>私たち商工会関係に関しても、以前は商工会青年部で担い手育成基金というのを借りて、色々なところへ行かせてもらっていました。</p> <p>そのように商工会青年部がとても活発な時期に所属していた経験があるので、私は今この場に委員としているのだらうという気がします。</p> <p>現在の商工会青年部は、人数が少なくなったというのも間違いありませんが、そういう補助金のようなものも無くなってきていますし、考え方も変わってきており厳しい状態にあるようです。</p> <p>農業青年大学や農協青年部などは、今とても活発になってきているように感じますが、商工会青年部については衰退していつているように感じています。</p>
松 崎 委 員	<p>学校教育の関係で、意見としてお伝えしておきたいことがあります。</p> <p>最近報道などで、いじめについて取り上げられています。</p> <p>端野小中学校では仁頃や日吉から通うようになる子どもがいますので、受け入れ態勢に注意してあげて欲しいと思っています。</p> <p>元々端野にいて小学校からずっと同じ学校に通っている子どもたちのところに、他の地区から入って行く訳ですから、特に気にかけてあげて欲しいです。</p> <p>端野の小中学校ではいじめはなどないと思っていますが、どうなのでしょう。</p>
田辺教育事務所長	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>この件に関しては、特に気にかけていきたいと思っています。</p> <p>端野小中学校でのいじめについては、ありません。</p>
森 谷 委 員	<p>建設課に、今後のことについて確認したいことがあります。</p> <p>除雪機械の購入についてですが、去年は非常に雪が多かったということもありますし、除雪機械の老朽化が全国的に問題となりました。</p> <p>先日、北海道で入れ替えになった除雪車については、町村と民間に移しますという記事が新聞に大きく載っていました。</p> <p>実際にどれだけ移されたかというと全道で18台のようで、そのうち16台は町村に移されました。</p> <p>町村が優先されて、余ったものがあれば民間に移されるようです。</p> <p>北見は市ですからこういったものを買うことはないのですが、北見市として除雪機械の入れ替えをしたときに、除雪をしている市内の業者に対して、更新になった除雪車を払い下げるような取り組みはされているものなの</p>

<p>福島建設課長</p>	<p>でしょうか。</p> <p>今、全国的に除雪車は民間では買えない時代ですので、北見市として除雪機械をどのような形で払い下げているのか現状と、これからの課題をわかる範囲で教えてください。</p> <p>私もその新聞記事は確認しましたが、概ね機械の年数が15年以上、稼働時間もかなり長いものばかりが北海道からの譲与対象の機械と聞いています。</p> <p>我々の管理している建設機械は主に除雪機械ですが、官貸車と言って、貸与して除雪の維持に使ってもらっているものがあります。</p> <p>これらの機械の更新時期は、国からの指導もあり概ね15年となっています。</p> <p>我々が保有している機械の中にはグレーダーという機械もありますが、これについては、国が定める排気ガスの対策を講じていて、基準を満たしている車両が、現在日本国内で売っていないということもあって、更新できないという実態もあります。</p> <p>昨年度は非常に多くの降雪があり、除雪に関し皆さんに大変ご迷惑をお掛けしました。</p> <p>機械の能力の問題もありますし、台数という点でも問題があったかと思えます。</p> <p>今後の降雪の状況や見通し、除雪の計画も見直しを視野に入れながら、建設機械の管理を考えていかなくてはいけないと思っています。</p> <p>更新時期を過ぎた車両の取扱いについては、今年度、資料1の17ページに記載しています除雪ドーザーの更新で機械を買いましたら、今まで使っていた機械は北見の方で使用するというので、そちらへ移ることになります。</p> <p>無駄なく使うということでやっていますが、そういうことをしますと、民間業者さんには回らないということになります。</p> <p>我々としては、除雪維持組合さんと話し合いを持ちながら、台数の管理、能力的なもの、除雪のエリア設定や路線の種別についても、毎年お話をさせていただく機会がありますので、そういう機会を利用して今後の方向性について話し合いを続けていきたいと思えます。</p>
<p>森谷委員</p>	<p>更新される機械については、民間払下げとなるように配慮していただきたいので、今後も引き続き検討項目としていただけるようお願いいたします。</p>
<p>福島建設課長</p>	<p>北海道と情報の共有を図りながら、地元で需要があるということで働きかけていきたいと思えます。</p>
<p>藤田自治区長</p>	<p>市全体で言いますと、官貸車は少ないのが現状です。</p> <p>毎年、できるだけ官貸車を増やす方向で都市建設部において検討していきまして、新しく購入している分もありますし、自治区のバランスをみながら更新しています。</p> <p>今までにも払い下げたものはあるかと思えますが、今後も継続して検討課題として捉えていきたいと思っています。</p>

松崎委員	<p>ゴミのポイ捨てについて、市民環境課に確認させてください。</p> <p>北見常呂線でのポイ捨てがかなりひどく、例えば紙おむつなどが散乱しているということで地元の方から苦情があり、何か対策をとれないものでしょうか。</p> <p>捨てられたゴミをキツネが持ち歩いて畑に撒かれるということもあり、迷惑しているという話が自治会の中でもあがっている状況です。</p>
加藤市民環境課長	<p>ゴミのポイ捨ては、端野だけに限らず北見市全体でもかなりあります。特に北見常呂線の三号峠については、こちらにも情報をいただいております。</p> <p>北見市全体としては、監視カメラを設置したり看板を立てたり、あるいは職員が巡回したりしながら、啓発事業を行っております。</p> <p>特に、捨てられる場所は限定される傾向にありますので、そういったところを中心に監視していきたいと思っています。</p>
松崎委員	<p>郵便物のことについて、総務課に確認させてください。</p> <p>例えば、私たちまちづくり協議会の報酬などについて、必ず葉書でお知らせが来ますが、少しでも経費削減という考え方をすれば、報酬が出ているということはちゃんと自分でわかっていますから、毎回出す必要はないのではと思っています。</p> <p>これを北見市全体で見直せば、かなりの経費削減につながるのではないのでしょうか。</p>
上銘総務課長	<p>松崎委員のように大変ありがたいご意見を寄せていただく委員さんもいらっしゃいますが、全市的な部分ですので、また違った意見をお持ちの委員さんもいらっしゃるかと思います。</p> <p>貴重なご意見として受け止めさせていただきますが、全市的にひとつの方向に統一するのは、なかなか難しいのではないかと思います。</p> <p>経費削減で言えば、端野町当時は同じご家庭であれば一枚の封筒に入れて発送することができていましたが、合併後は各課から発送するために、まとめるということも難しくなっていて、どうしても個別に行ってしまうというのが現状です。</p> <p>そういう部分では、小さい町と違ってひと手間かけることができない数の多さというのが、大きな市になってからはあると思います。</p>
松崎委員	<p>中には、郵便代をかけてまでも通知する必要があるのかなと思うくらいの、何十円という単位のお知らせもあります。</p> <p>確かに全市的な考えで進めるもので、この場での意見だけで決められるものではありませんが、もっと行政コスト削減を考えて効率的なやり方を考えていただきたいと思っています。</p>
水口委員	<p>私も同じ意見です。</p> <p>私もいくつか委員をしていますが、何かある度にお知らせをいただいでい</p>

<p>藤田自治区長</p> <p>岡村会長</p>	<p>て、毎回の通知は必要ないと思っていました。</p> <p>会計の方で条例などあって、毎回の通知になっているのだろうと思いますが、実際には、例えば半年に一度、一枚の用紙にまとめて記載して通知してもらうなどの程度で十分だと思っています。</p> <p>以前は、選挙の入場券を郵送する際に職員の分を全部抜き出して、直接配ったことがありました。</p> <p>その方法で行った場合、作業に人手を割くことでその手間に人件費がかかりますので、郵送したほうが安く済む為、止めてしまった経過があります。</p> <p>金銭的な部分から言えば、実際に口座に入金されているかどうかご本人に確認していただくというのも大事なことであり、職員の不正防止の面からも必要です。</p> <p>貴重なご意見をいただきましたが、おそらく、北見市全体で通知を無くす方向にはいかないだろうと思います。</p> <p>他にご質問、ご意見ございませんか。</p> <p>なければ、「平成 27 年度端野自治区関係予算について」は、以上で終わります。</p>
<p>3. その他</p>	
<p>岡村会長</p> <p>事務局</p>	<p>次に、次第の 3、その他として「①北見市景観計画（巻末資料追加）」について事務局から説明願います。</p> <p>資料につきましては資料 4 と、第 1 回まちづくり協議会でお配りしました「北見市景観計画書」をご覧ください。</p> <p>前回の第 1 回まちづくり協議会で、北見市景観計画について冊子をお配りしてご説明させていただいたところでしたが、素案作成に携わってこれ、策定委員でありました水口委員より、ふたつのご質問をいただいております。</p> <p>ひとつ目が、景観計画素案を 1 年かけて作り上げたのは、北見市景観計画策定委員であって、素案の参考資料にあった景観計画策定委員会の名簿と会議の開催経過が、計画書の正本では削除されたのはこういった経過なのかということでした。</p> <p>ふたつ目は、計画素案の完成時に、北見市としてシンボルカラーを検討すると記載するという話であったにも関わらず、計画にないのはなぜかというご質問でした。</p> <p>この旨は、所管であります都市建設部に伝えまして、都市建設部内で協議され、回答をいただきましたので経過と回答内容をご報告いたします。</p> <p>先に、ふたつ目の質問であります、シンボルカラーの検討につきましては、北見市景観計画書の 56 ページの 3 の (1) の②、枠の中にあります最後の項目、「地域の景観資源の登録制度設置及びシンボルカラーの検討等」とありますので、この点については記載されているということでご理解願いたいということです。</p> <p>ひとつ目の質問であります、計画素案の参考資料にあった策定委員の名簿</p>

	<p>と会議の開催経過が削除された理由についてですが、本日お配りしました資料4の2枚目以降をご覧ください。</p> <p>下に58-1と記載されたページの中段に「景観計画（素案）を基に北海道と協議をし、市が景観行政団体となる」とあります。</p> <p>景観計画書では、この「景観行政団体」となった後からの部分しか記載されていなということです。</p> <p>都市建設部においても水口委員のご指摘のとおり、北見市の最初の計画書ですので、後世に残る資料としても計画素案を作成いただいた策定委員会から時系列に記載していくことが、策定計画を明確にする意味でも非常に大切であるということの結論に至ったところです。</p> <p>大変お手数をおかけしますが、本日お配りしております資料4の58-1ページから58-4ページまでを、景観計画書の58ページの次に追加資料として追加していただきたくお願い申し上げます。</p> <p>なお、都市建設部では、策定委員の皆様への追加資料に対するご説明と、4月上旬に計画書を各種団体に配布済みということですので、追加資料を全員に送付させていただいているところです。</p> <p>皆様には大変ご迷惑をお掛けしまして、大変申し訳ないということでしたので、お伝えさせていただきます。</p>
岡村会長	<p>ただいま説明のありました「北見市景観計画（巻末資料追加）」について、委員の皆さんから、ご質問などございませんか。</p> <p>なければ、「北見市景観計画（巻末資料追加）」については、以上で終わります。</p> <p>次に、次第の3、その他の「②道道仁倉端野線道路の改修予定について」、建設課から説明願います。</p>
福島建設課長	<p>--- 福島建設課長より説明 資料5 ---</p>
小田委員	<p>この区間が平成25年に通行止めになったときには、1年程度、翌年の8月ごろまでかかると聞いていたのですが、なぜこんなに経過してしまったのでしょうか。</p>
福島建設課長	<p>北海道へ問い合わせしましたところ、当初の予定としては平成27年度の完成を目指していたと聞いています。</p> <p>地すべりが微量ながらも起こっているということで、これを止めるには、工事の規模が当初予定していたよりも広範囲になってしまい、この対策工としてかなりの土を持ってこなくてはならないものの、土を持ってくる先が無かったという事もあります。</p> <p>前年度ようやく対策工が終わりましたが、設計及び調査に時間がかかり、予定より大規模になったせいで当初の予定から2、3年遅れており、3年以上はかかる工事となっています。</p>
小田委員	<p>ここの通行止めには、非常に困っています。</p>

	<p>北見市となってから、こういった事への対応が遅れているのではないでしょうか。</p> <p>端野町当時であれば、もっと早く話が進んでいたように思います。</p> <p>大きな声を出さないと対応してくれないのか、という気持ちを持ってしまいます。</p>
藤田 自治区長	<p>後からも地すべりの箇所が見つかったのではなかったでしょうか。</p>
福島 建設課長	<p>当初の地すべり箇所の他に、背後にも地すべり箇所があることがわかりまして、対処するには全体をやらなくてはいけない、と聞いています。</p>
小 田 委 員	<p>それはもうきちんと調査済みで、それも含めて今年から工事は始まるということですか。</p>
福島 建設課長	<p>そうです。</p> <p>地すべり自体に、土と水と傾斜という 3 つの要素がありますので、それを観測してどのようにしていくのが最適かというのに時間を要したことと、対策するにはかなりの土が必要ということで、その調査に時間を要したということになります。</p>
小 田 委 員	<p>地元の方はかなり我慢して迂回していますので、早く直してもらえるようにお願いします。</p>
福島 建設課長	<p>地元の方からは、搬送用のトラックは通れないかという問い合わせもいただいておりますが、トラックは通ることができませんとお答えするたびに、早期に直して欲しいという要望を受けています。</p> <p>今までも北海道には早期完成の要望を伝えていますが、今後も引き続き、要望していきたいと考えています。</p>
松 崎 委 員	<p>通行の許可証が欲しい場合は、どのようにしたらよいのでしょうか。</p> <p>必要であれば、早めに申請しないといけないものなのでしょうか。</p>
福島 建設課長	<p>自治連絡会などを通して、許可が必要な場合は建設課にご相談くださいとお伝えしています。</p> <p>農協の関係部署にも、コンバイン組合さんで該当はありませんかと問い合わせした経過もあります。</p> <p>北海道への申請は建設課が間に立ちまして、許可証のとれる車両かどうかの確認をとらせていただきます。</p> <p>通行する方は慣例的に把握していますが、新規の申請もお受けしています。</p> <p>申請して当日中という訳にはいきませんので、1 週間から 10 日ほど前からお問い合わせいただければ、必要な期間の許可証には間に合うかと思いません。</p> <p>ただ、やむなくここを通らなくてはならない低速車、30 キロ程度の速度で</p>

	<p>走らなくてはならないものに限って通行を許可するということですので、該当しないものについては、大変申し訳ありませんが通常の迂回路を通っていただくようお願いしているところです。</p> <p>トラクターは通行可能ですが、大きなタイヤショベルで通常どおり公道を走れそうな車両については許可できないと言われたこともあります。</p> <p>車両によっては許可できるものとできないものがあるようですから、建設課の方でかまいませんので、できれば早めにお問い合わせいただければと思います。</p>
松崎委員	<p>道路工もあるということですが、別の迂回路を付けるのでしょうか。</p>
福島建設課長	<p>山側の方へ寄ると地すべりの影響を受けますので、山側を避けて、予定の話ですが若干川の方へ寄って迂回路を付けると聞いています。</p> <p>見た目に道路ができて、一定の期間は地すべりが無いことの観察が必要とのことで、すぐ共用開始とはなりませんので誤解のないようお願いいたします。</p>
岡村会長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それでは、「道道仁倉端野線道路の改修予定について」は、以上で終わります。</p> <p>次に、次第の3、その他の「③ナイナイのお見合い大作戦！北見の花嫁開催について」、産業課から説明願います。</p>
浜田産業課長	<p>皆さんのお手元にチラシをお配りしていますが、7月17、18、19日の3日間で、「ナイナイのお見合い大作戦」というテレビ番組の撮影を、北見市の合併10周年記念事業として行うこととなっています。</p> <p>7月19日には、端野のメルヘン広場で、女性の歓迎セレモニーを行うことになりました。</p> <p>当日のスケジュールは朝7時50分までに集合となっていて、なるべくたくさんの方に集まっていたきたいということですので、この場で皆さんにお知らせしまして、ぜひご家族と一緒に来ていただければと思っております。</p> <p>農林水産部所管の事業ですので、男性については第1次産業の方21名となっており、端野から8名となっています。</p>
水口委員	<p>テレビでの放送はいつになりますか。</p>
浜田産業課長	<p>まだはっきりと決まっておらず、9月から10月頃と聞いています。</p>
岡村会長	<p>他にご質問はございませんか。</p> <p>それでは、「ナイナイのお見合い大作戦！北見の花嫁について」は、以上で終わります。</p> <p>次に、次第の3、その他の「④北見市プレミアム商品券について」、産業課</p>

	から説明願います。
浜田産業課長	---浜田産業課長より 資料「プレミアム商品券発行事業について」説明---
岡村会長	ただいま説明のありました「北見市プレミアム商品券について」、委員の皆さんからご質問などございませんか。 なければ、「北見市プレミアム商品券について」は、以上で終わります。 その他の①から④までは終了しました。 委員の皆さんから「その他」として何かありますか。
各委員	--- 特になし ---
岡村会長	なければ、最後に事務局から何かありますか。
事務局	次回、第3回の協議会ではありますが、8月上旬ごろを目途に開催したいと考えております。 事務局からは以上です。
岡村会長	それでは、以上をもちまして、第2回端野まちづくり協議会を終了いたします。 最後に山内副会長から挨拶をいただきます。
山内副会長	本日は、たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 我々農家では、7月25日ごろから麦刈りが始まり、収穫の時期を迎えますので、忙しくなってくるかと思えます。 先ほどカレーライスマラソンの話も出ました。 今年は30回ということで市から助成をいただいていますので、今までにない豪華なカレーを作ってお祝いしたいと考えています。 チーム枠も30枠増えていますし、端野枠の募集期間は終わりましたが一般枠の募集をしていますので、多くの方に参加していただきたいと思っています。 今日はお疲れ様でした。
岡村会長	以上で終了いたします。 お疲れ様でした。  --- 21時00分 終了 ---